シラバス様式

2021 年度

「　音楽Ⅰ　」シラバス

沖縄県立八重山商工高等学校

教　科	芸術	単位数	2
学　科	全学科	学年・組	1 年全クラス
使用教科書	音楽Ⅰ改訂版　Tutti（教育出版）		

「音楽Ⅰ」とはこんな科目です（科目の概要と学習目標）

世界の国々、島々にはその土地の歴史や風土から生まれた音楽があります。その多様性を理解し、創意工夫して表現できる技能を身に付け、またその良さや美しさを味わって聴くことができるよう学習します。
生涯にわたり音楽を愛好し、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく心情を育みます。

授業の進め方

＊主体的・協働的に活動に取り組めるようアクティブラーニングの充実を図ります。
＊自分の思いを音楽で表現することが大切です。発表の機会を設定します。

「音楽Ⅰ」の評価の観点

評価の観点	内　　容	評価方法
音楽への関心・意欲・態度	音楽活動の喜びを味わい、音楽や音楽文化に関心をもち、主体的に表現や鑑賞の学習に取り組もうとしたか。	毎時間の授業の中で評価する。
音楽表現の創意工夫	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、音楽表現を工夫し、表現意図をもっているか。	授業の中や提出物、定期試験で評価する。
音楽表現の技能	創意工夫を生かした音楽表現をするための技能を身に付け、創造的に表現したか。	授業の中や定期試験で評価する。
鑑賞の能力	音楽を形づくっている要素を知覚し理解を深めて、音楽のよさや美しさを味わえたか。	授業の中や提出物、定期試験で評価する。
以上の事項を総合的に判断し評価します		

【学習の計画（どのような内容をどの時期に学ぶのか）】

学期	月	題材名・単元名	時間	教材
1	4	① オリエンテーション ～授業を楽しく学ぶために～	1	○シラバス
	5 6	② ギターを演奏しよう	15	○Start Up Playing the Guitar ○夢の中へ ○楽典（コードネーム） ○ギター&キーボード・コード表 ○翼をください（ギター伴奏による合唱）
	7	③ 世界の音楽1 ～郷土の音楽と諸民族の音楽～	10	○てぃんさぐぬ花○安里屋ユンタ ○涙そうそう ○八重山のまつり ○世界の声 ○世界の楽器
		④ 1学期の学習のまとめ	1	○1学期に学習した教材 ○学習のまとめのワークシート ○夏休み中の課題「音楽鑑賞～私の好きな曲～」
2	9	① 西洋音楽史	5	○夏休み課題発表
	10	② 歌唱・ヴォイスアンサンブル	10	○校歌○Happy birthday to you○今、咲き誇る花たちよ ○世界に一つだけの花
	11	③ リズムの練習・楽典	8	○Exercise ○楽典
	12	④ 音楽会に向けて（選曲）	2	○教科書
		⑤ 2学期の学習のまとめ	1	○学習のまとめのワークシート ○2学期に学習した楽曲
3	1 2 3	① 音楽会を開こう ～音楽1のまとめとして～	17	○1年間で取り扱った教材等
合計			70	

2021年度

音楽Ⅱ シラバス

シ

教科	学科	学年	単位数	教科書	学校
芸術	全学科	２年 （選択制）	２単位	高校音楽Ⅱ 改訂版 Tutti （教育出版）	沖縄県立 八重山商工

「音楽Ⅱ」とはこんな科目です（科目の概要と学習目標）

世界の国々、島々にはその土地の歴史や風土から生まれた音楽があります。
その多様性を深く理解し、創意工夫して表現できる技能を身に付け、またその良
美しさを深く味わって聴くことができるよう学習します。 生涯にわたり音楽を
音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく心情を育みます。

授業の進め方

・主体的・協働的に活動に取り組めるようアクティブラーニングの充実を図りま
・自分の思いを音楽で表現することが大切です。発表の機会を多く設定します。

「音楽Ⅱ」の評価の観点

評価の観点	内　　容	評価
音楽への関心 授業意欲・態度	音楽活動の喜びを味わい、音楽や音楽文化に関心をもち、主体的に表現や鑑賞の学習に取り組もうとしたか。	毎時間の授 参考に評
音楽表現の 創意工夫	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、音楽表現を工夫し、表現意図をもっているか。	授業姿勢や 定期試験で
音楽表現の 技能	創意工夫を生かした音楽表現をするための技能を身に付け、創造的に表現したか。	授業姿勢や 参考に評
鑑賞の能力	音楽を形づくっている要素を知覚し理解を深めて、音楽のよさや美しさを味わえたか。	授業姿勢や 定期試験で

以上の事項を総合的に判断し評価します。

音楽Ⅱ担当

ラバス様式

校名
工高等学校

良さや

愛好し、

す。

方法
授業姿勢を 価する。
や提出物、 評価する。
定期試験を 価する。
や提出物、 評価する。

吉田 優子.

シラバス様式

2021 年度

「　音楽Ⅱ　」シラバス

沖縄県立八重山商工高等学校

教　科	芸術	単位数	2
学　科	全学科	学年・組	３年選択
使用教科書	音楽Ⅱ改訂版　Tutti　（教育出版）		

「音楽Ⅱ」とはこんな科目です（科目の概要と学習目標）

　世界の国々、島々にはその土地の歴史や風土から生まれた音楽があります。その多様性を深く理解し、創意工夫して表現できる技能を身に付け、またその良さや美しさを深く味わって聴くことができるよう学習します。
生涯にわたり音楽を愛好し、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく心情を育みます。

授業の進め方

＊主体的・協働的に活動に取り組めるようアクティブラーニングの充実を図ります。
＊自分の思いを音楽で表現することが大切です。発表の機会を多く設定します。

「音楽Ⅱ」の評価の観点

評価の観点	内　　容	評価方法
音楽への関心・意欲・態度	音楽活動の喜びを味わい、音楽や音楽文化に関心をもち、主体的に表現や鑑賞の学習に取り組もうとしたか。	毎時間の授業の中で評価する。
音楽表現の創意工夫	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、音楽表現を工夫し、表現意図をもっているか。	授業の中や提出物、定期試験で評価する。
音楽表現の技能	創意工夫を生かした音楽表現をするための技能を身に付け、創造的に表現したか。	授業の中や定期試験で評価する。
鑑賞の能力	音楽を形づくっている要素を知覚し理解を深めて、音楽のよさや美しさを味わえたか。	授業の中や提出物、定期試験で評価する。
以上の事項を総合的に判断し評価します		

【学習の計画（どのような内容をどの時期に学ぶのか)】

1	4 5 6 7	① オリエンテーション ② 郷土の音楽に親しむ ③ 朗読劇の音楽 ～八重山商工高校物語～ ④ １学期音楽学習のまとめ	1 12 15 1	○シラバス ○てぃんさぐぬ花○島唄 ○本校創立記念日に向けての取組み ○地上の星○安里屋ゆんた ○えんどうの花○彼こそが海賊 ○イマジン○ヘッドライト・テールライト ○学習のまとめのワークシート ○夏休みの課題レポート：八重山の豊年祭・アンガマについて調べる。
2	9 10 11 12	① 朗読劇の音楽仕上げ ② 郷土の文化 ～八重山の豊年祭・旧盆～ ③ Playing the Guitar ④ リズムの練習・楽典 ⑤ 音楽会に向けて ⑥ ２学期の音楽学習のまとめ	4 3 8 5 2 1	○本校創立記念日に向けての取組み ○夏休みの課題の発表とまとめ ○八重山のまつり ○なごり雪 ○Exercise ○楽典 ○自由曲の選曲 ○学習のまとめのワークシート ○冬休みの課題：音楽会の練習
3	1 2 3	① 音楽Ⅱのまとめ ～音楽会を開こう～	18	○自由曲の演奏発表
合計			70	

教科(科目の種類)	学科(コース)名	学年	単位数	履修期間
芸術	観光コース除く （選択科目）	２学年	２単位	通年
	科目名	書道Ⅰ		

目標	書道の幅広い活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、書写能力の向上を図り、表現と鑑賞の基礎的な能力を伸ばし、書の伝統と文化についての理解を深める。
概要	（１）書道の基本の習得 （２）漢字・仮名交じりの書の習得
授業計画	**①一学期計画** **楷、行書基本の学習** **毛筆臨書（半紙）** **【中間考査】** **実技テスト** **毛筆臨書（条幅）** **第１回書写検定に向けての取り組み** **【期末考査】** **実技テスト** **毛筆臨書（条幅）** **各種コンクールに向けての取り組み** **②二学期計画** **作品製作** **【中間考査】** **作品製作** **書道の活用（年賀はがきの作成等）** **第２回書写検定に向けての取り組み** **【期末考査】** **書道の活用** **鑑賞** **③三学期計画** **硬筆** **【学年末考査】** **一年間のまとめ** **硬筆** **鑑賞**
評価の観点	①書道を愛好し、興味関心をもち、意欲的に活動しようとしたか。 ②書道のよさや美しさを感じ取って創造的な書道の活動ができたか。 ③自己のイメージを表現するための技能を身につけ、それを活かし創造的に表現できたか。 ④見ることを楽しみ、書の美しさと表現効果を味わい、感じ取ることができたか。 以上の観点をもとに「出席状況」「授業への取り組み」「試験」「提出物」などで総合的に評価する。
教材	使用教科書（教育出版：新編　書道Ⅰ）
留意点	発表の機会をできるだけ設定し、研鑽に努める

シラバス様式

2021 年度

「　郷土の音楽　」シラバス

沖縄県立八重山商工高等学校

教　科	芸術	単位数	2
学　科	観光コースを除く学科	学年・組	２年選択
使用教材	八重山古典民謡工工四　　他　関連教材		

「郷土の音楽」とはこんな科目です（科目の概要と学習目標）

八重山古典民謡は、沖縄本島の琉球古典音楽とは違う独特の特色があります。八重山の文化的遺産としての八重山古典民謡の三線の弾き方や発声法等を基礎から学び、方言の歌詞の意味、その歌にかかわる歴史的背景についても学習します。また、三線なしで歌われるジラバ、ユンタ、アヨー等の「古謡」や横笛についても学習します。

郷土の音楽を通して郷土への愛と誇りを高め、それが我が国そして世界の音楽や文化をも尊重する態度を育みます。

授業の進め方

＊主体的・協働的に活動に取り組めるようアクティブラーニングの充実を図ります。
＊自分の思いを音楽で表現することが大切です。発表の機会を多く設定します。

「郷土の音楽」の評価の観点

評価の観点	内　　容	評価方法
音楽への関心・意欲・態度	音楽活動の喜びを味わい、音楽や音楽文化に関心をもち、主体的に表現や鑑賞の学習に取り組もうとしたか。	毎時間の授業の中で評価する。
音楽表現の創意工夫	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、音楽表現を工夫し、表現意図をもっているか。	授業の中や提出物、定期試験で評価する。
音楽表現の技能	創意工夫を生かした音楽表現をするための技能を身に付け、創造的に表現したか。	授業の中や定期試験で評価する。
鑑賞の能力	音楽を形づくっている要素を知覚し理解を深めて、音楽のよさや美しさを味わえたか。	授業の中や提出物、定期試験で評価する。
以上の事項を総合的に判断し評価します		

【学習の計画（どのような内容をどの時期に学ぶのか)】

学期	月	題材名・単元名	教材
1	4 5 6 7	①　オリエンテーション ②　三線の基本 ③　八重山古典民謡 ④　笛づくりと音出し ⑤　とぅばらーまを学ぼう （歌詞づくり） ⑥　1学期の音楽学習のまとめ	○オリエンテーション資料 ○チューリップ ○でんさ節 ○安里屋ゆんた○とまた節○鷲ぬ鳥節○繁盛節 ○月ぬ美しゃ ○自作の歌詞をつくる ○学習のまとめのワークシート ○夏休みの課題：八重山の豊年祭・旧盆について調べる。笛曲の練習。
2	9 10 11 12	①　郷土の文化 ～八重山の豊年祭・旧盆～ ②　とぅばらーまを学ぼう （方言の歌詞） （歌唱） ③　古謡 ④　商工祭に向けて （笛と三線の仕上げ） （とぅばらーま歌詞の仕上げ） ⑤　2学期の音楽学習のまとめ	○夏休みの課題の発表とまとめ ○つくった歌詞を方言で表現する。 ○自作のとぅばらーまを歌ってみる。 ○「とぅばらーま大会（歌詞の部)」への応募 ○あんぱるぬみだがまゆんた　他 ○でんさ節○安里屋ゆんた○とまた節○鷲ぬ鳥節 ○繁盛節○月ぬ美しゃ○とぅばらーま ○学習のまとめのワークシート ○冬休みの課題：音楽会の選曲
3	1 2 3	①　郷土の音楽のまとめ ～音楽会を開こう～ ②　我が国、世界の民俗音楽	○自由曲を選曲 ○ガムラン○サンバ○ケチャ ○アリラン　他

シラバス様式

2021 年度

「　郷土の芸能」シラバス

沖縄県立八重山商工高等学校

教　科	芸術	単位数	2
学　科	観光コース	学年	1 年
使用教科書	八重山古典民謡上・下（大濵安伴　編著）　他　関連教材		

「郷土の芸能」とはこんな科目です（科目の概要と学習目標）

八重山古典民謡は、沖縄本島の琉球古典音楽とは違う独特の特色があります。八重山の文化的遺産としての八重山古典民謡の三線の弾き方や発声法等を基礎から学び、方言の歌詞の意味、その歌にかかわる歴史的背景についても学習します。また、三線なしで歌われる「古謡」や八重山舞踊についても学習します。

郷土の音楽を通して郷土への愛と誇りを高め、それが他国の音楽や文化をも尊重する態度を育みます。

授業の進め方

＊地域の三線指導者を講師に迎え、音楽教師と２人で指導します。
＊観光コースと連携をとりながら授業を進めます。
＊主体的・協働的に活動に取り組めるようアクティブラーニングの充実を図ります。
＊自分の思いを音楽で表現することが大切です。発表の機会を多く設定します。

「郷土の芸能」の評価の観点

評価の観点	内　　容	評価方法
音楽への関心・意欲・態度	音楽活動の喜びを味わい、音楽や音楽文化に関心をもち、主体的に表現や鑑賞の学習に取り組もうとしたか。	毎時間の授業の中で評価する。
音楽表現の創意工夫	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、音楽表現を工夫し、表現意図をもっているか。	授業の中や提出物、定期試験で評価する。
音楽表現の技能	創意工夫を生かした音楽表現をするための技能を身に付け、創造的に表現したか。	授業の中や定期試験で評価する。
鑑賞の能力	音楽を形づくっている要素を知覚し理解を深めて、音楽のよさや美しさを味わえたか。	授業の中や提出物、定期試験で評価する。
以上の事項を総合的に判断し評価します		

【学習の計画（どのような内容をどの時期に学ぶのか）】

学期	月	題材名・単元名	時間	教材
1	4	① オリエンテーション	1	○オリエンテーション資料
	5 6 7	② 三線	14	○安里屋ゆんた○でんさ節○鷲ぬ鳥節○鶴亀節○めでたい節
		③ 沖縄の行事・文化について	2	○浜下り ○ミンサー ○ハーリー
		④ 八重山のまつり	2	○豊年祭、旧盆等
		⑤ １学期の音楽学習のまとめ		○学習のまとめのワークシート ○夏休みの課題レポート：方言による自己紹介・紙芝居題材決め
2	9	① 方言紙芝居作成	10	○夏休みの課題の発表とまとめ ○紙芝居作成 ○紙芝居発表
	10 11	② 舞踊	14	○まみとーま○鷲ぬ鳥 ○竹富クイチャー
		③ 文化祭に向けて	6	○これまで学習してきた教材曲
	12	④ ２学期の音楽学習のまとめ	1	○学習のまとめのワークシート
3	1	① 古謡	7	○こいなユンタ○山ばれーユンタ ○あんぱるぬみだがーまユンタ
	2	② 三線（二揚曲）	6	○月ぬ美しゃ
		③ 三線（早調子）	6	○繁盛節
	3	④ 郷土の芸能のまとめ	1	○1 年間で取り扱った教材
合計			70	

教科（科目の種類）	学科（コース）名	学　年	単 位 数	履 修 期 間
芸術	電気・観光コース除く （選択科目）	２年	２単位	通年
	科 目 名　郷土の舞踊			

目標	（１） 八重山舞踊の基本的な所作を体得する （２） 先人の残した「想い」や「歌詞」に触れ、その時代の生活や社会的背景を学ぶ	
概要	（１） 自己の生まれ育った八重山の風土に誇りを持ち八重山舞踊を学ぶ	
授業計画	**① 一学期** 演目「鷲ぬ鳥節」 ・八重山舞踊の基本的所作 （歩み・構え・腰落とし等） ・扇子踊りの基本所作 （持ち方・構え・振り・型） 期　末　テ　ス　ト **② 二学期** 演目「安里屋節」 ・四つ竹を音に合わせて軽快なリズムで女性らしく踊る 演目「桃里節」 ・デイゴの花を持ち女性らしく踊る ・囃子を唄い明るい表情で踊る 期　末　テ　ス　ト	**③ 三学期** ・これまでのおさらい ・調べ学習のまとめ ・おさらい会の企画 学　年　末　テ　ス　ト おさらい会 一年間のまとめ
評価の観点	①楽しく踊りを愛好することができたか。 ②先人の想いに触れ、アイデンティティの確立につなげられつつあるか ③各演目の特色に触れ、また舞台で演じることに対し、創造的な工夫をしたか 以上の観点を基本に、「出席状況」「授業への取り組み」「試験」「提出物」などで総合的に評価する。	
教材		